

2025年度

学校名 橋本市立高野口小学校

対象学年 4年

① 学習指導案

プログラム	No. 11 「 地域景観プランナーになろう 」
单元名 (全 時間)	お祭り復活プロジェクト～信太はとっても神ってる～
学習のねらい	里山のゆたかさの内容をひもとき、自然や伝統を守る人々の喜びや苦勞を知る。自分たちが地域を元気にする力をもった存在であることを自覚させる。
学習内容	1 信太地区のことを詳しく知って大好きになろう 2 大好きな信太地区のお祭りは復活できるか？ 3 たくさんの人をよんで、お祭りを開こう 4 お祭りのお礼をしよう
参考資料	高野口町誌
準備品	祭に必要なもの
実施場所等	信太地区の各所、隅田地区の土俵、学校






学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
0分	取材結果を交流する	信太住民の各家庭にインタビューした結果を、視覚的に分かりやすいように掲示物を用意しておく 子どもの発言をあとの話し合いで生きるように黒板に記録する	取材した内容をもとに、信太で祭りを開く活動を自分事としてとらえて、思いやこだわりをもって話し合うことができる。
20分	取材の結果、どんな祭りを開くことが自分たちも信太の人たちも幸せになれるかを考える	大人の考える祭りに偏ることのないように、子どもたちの等身大の思いが出しやすいように話し合いをサポートする	
40分	祭りの方向性をまとめ、共通理解する	まとまらない場合は、無理にまとめず、もう一度話し合う時間をもつことと、それまでに自分で調べたり考えたりしておくように伝える。	
	ふり返り	自分の思いを書く	

② 事業実施報告書詳細

学校名 橋本市立高野口小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
4	信太	<p>信太に行ってみよう</p> <p>信太ぐらしを発信している方にガイドをしてもらって5km山を登って嵯峨の滝まで行きました</p>	<p>150分かけて歩いたら、森と滝がありました</p>  <p>きゅうちゃんたちにも、自然にも、ありがとう！</p> <p>ぼくらにはわかる！あそこには神様がいる</p>  <p>川があつてすずしくて、静かでいい気持ちになるから住みたい。いろんな植物や生き物たちに出会える。山は楽しい、もっと登りたい。</p> <p>森の木や滝は、どうやって400も、つづいていきただろう？</p> <p>もっと信太のことを知りたい</p>	<p>道の途中でいろんなよさや課題を発見し、感動し、信太を一気に好きになり、住んでみたい気持ちになりました。</p>
3	学校	<p>信太で取り組みたいことを考えよう</p> <p>児童の心に残ったこと、これから取り組みたいことを出し合い、大きな目標は「祭りを復活させよう」に決まり、信太の事を多くの人に知ってもらおうというめあてを作りました。</p>	 	<p>ぼくは信太に住んできたから、もうあきている。店も何にもなくていやだ。だけど、小さいときにいったお祭りが楽しかったことは今でもいい思い出。ぼくはあのお祭りを復活させたい。</p>
3	学校	<p>嵯峨の滝の水の水質検査</p> <p>自分たちはきれいだと思っている嵯峨の滝の水を、CODを使って検査。結果とってもきれいなこと、でも下流に行くと汚いことが分かりました。</p>	  <p>上流 1 2 4 6 下流</p>	<p>嵯峨の滝の水が、川なのに水道水くらいきれいだと分かって、びっくりしたうれしかった。</p> <p>神様がいるし、生き物たちもいる、きれいな水の信太がもっと好きになった。</p>
2	学校	<p>地元の昔の祭りの映像を見てみよう</p> <p>町中で行われていた祭りの映像を見て、祭りへのイメージを広げました。</p>		<p>昔は祭も人も多かったけど、今はへってしまった。桜の多いころに合わせて祭をしたりしてとてもきれいだった。今の時代に祭があつてほしい！</p>

6	信太	・信太の方にインタビューを行い、なくなった祭りへの思いを聞いたり、信太に今も残る伝統について調べたりする		祭はにぎやかにすればいいと思ったけれど、伝統的な、静かな祭も必要だって思ったよ。
4	学校	・祭のめあて、祭の内容を考え、信太の方にプレゼンし、実施の可否を問う		24個の出しものを21人でやろうとしていることに無理があることと、めあてを大切にすべきだと分かったよ。
2		・他の過疎地域で祭はどうしているのか聞く		自分たちの「したい」だけじゃなくて、いろんな人の立場に立って考えてこそいいお祭りになるんだな。 祭にはめっちゃお金がかかるんだな。
2		・アドバイスを受けて、祭の出し物をしぼりこむ		
2		・会場の下見に行く⑩		
2		・地域の農家さんの農地を借りて、くるみ餅用のエダマメを植える⑪		
2		・祭の日程・担当者決め、夏休み明けの計画を立てる		
2		・区長会に向けてのビデオメッセージを撮影する		
2	学校	・会場に使う信太小学校はなぜ閉校したのか、最後の校長先生から話を聞く⑮		祭ひとつを作るのに、こんなにたくさんの方が集まってくる。祭りの本当の意味が分かってきた。それは地域づくり。祭りがあるから、いろんな人が思いをもちあって、地域がよくなっていくんだ！
2	隅田	・祭の出し物である「すもう」について、今もすもうを続けている保存会の方に話を聞く⑯		
6	学校	・出し物に必要な材料を仕入れ、調理・製作して準備を進める		
8	学校	・おみこしづくりをして、地域の祭りでかつぐ		
2	学校	・神踊りを教わる		
2	学校	・祭を知らせるリーフレットを作る		
4	学校			

2 2 2 時間外 休日 1	学校 信太 学校	<ul style="list-style-type: none"> ・祭のリハーサルをして、課題を見つける②② ・本番に向けて修正をすすめる ・サニックスとリサイクル絵馬づくり③ ・地元ラジオ局から取材を受ける④ ・祭本番 ・祭をふり返る(きずな) 	 	<p>アンケートよりメッセージ紹介④</p> <p>着かった～着物のお店があったりどっても着物がなかったです。くまをさがすのが楽しかったですよ～！ みんなこけりやべたけど、きずなが楽しかったぞ！</p> <p>リフレットがとってもよかったです。信太のいいところが伝わりました。全体的に楽しかったです！</p> <p>信太には、神様とつながった体験や、おいしい食べ物、そして文化の息「にぎひ」でみんなの心をなごませることができると、思っています。嬉しかったです。アウトルック、おかげさまで祭の準備がすすみました。</p> <p>アンケートよりメッセージ紹介④</p> <p>みんなで見えて、手作り、本番も笑顔でできていて、とてもよかった！ 来年もぜひ、お祭りにしてください！</p> <p>お手紙をさしていただいて、大変だったけど、真面目さが伝わって、手紙のやり取りが楽しかったです。</p> <p>子どもたちが、大勢の人の前で一生懸命に神のとりまきをしてくれて感動しました。お祭りが、子どもたちが主役、それを支える大人も楽しそうに、世代をこえた最高の祭りだと思いました。</p>
2 1 2 2	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・祭をふり返る(感謝)(歴史) ・地域の方から感謝状が届く ・祭の意味を考え、自分の成長をまとめる ・売り上げの使い道を考える 		<p>歴史は時間だけじゃなくて、思いがこもったものだった。 きずなの川には、たくさんの感謝が流れていて、それに気づくと神様が見えると思った。</p>
3 4 2	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人とのクリスマス会の準備を進める ・絵馬で地域活性プロジェクトの準備を進める ・クリスマス会を開く 		<p>みんなありがとう！ みんなと楽しく過ごせてとてもうれしかったです！ また来年もやりたくなった。</p>

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎信太地区を盛り上げようとしている町おこし協力隊や移住者、地域住民とつながりながら授業をつくったこと。 ◎子供たちの疑問や関心を大人が真摯に受け止めて、ともにわくわくしていく授業をつくっていること。 ◎大人が専門性を出して、教えながら自身もわくわくできるようにしたこと。 ◎お金がかかることは、金額をそのまま子どもたちに説明し、収支を考えさせたこと
--

<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 多くの方がかかわるので、その地域に通ってアポイントメントをとったり、授業に理解を得たりするのに時間がかかる ◎ 学校なので自由にできるお金がなく交通費などの工面が大変 ◎ いろんな主体がかかわったので、連絡を行き届かせることが難しかった。
<p>(3) 児童の反応</p> <p>◎ なにもないと思っていた山奥にこんな素敵な場所があったなんて、と感動し、住みたくなった児童が21人中19人いた。</p> <p>◎ 「なにもない」と思っていた地元の事を、今の大人も「なにもない」と思っている。このままでいいのかという疑問が少しずつ出てきたところ。</p> <p>◎ 自分たちで決めた「きずん・感謝・れきし」の3つのテーマに合わせて学びをやりとげられたことで大きな達成感を得て、祭りで地域を元気にできる実感を得られたこと。</p> <p>◎ 全体としては「価値がない」「あたりまえ」と思われているものごとの中に「価値を見出す」ことや、自らが大切にすることで「価値が生まれる」ことが感じられたことが大きな学びである。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>◎ 校区の中でも途中で併合した学校の遠い場所を使っでの授業に対して「そこを教材するのは無理だ」という先入観をこわすことができた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>祭を続けたいという思いをもっているが、今後自分たちのしたい祭りを地域に押し付ける形にならないようにすることに留意したい。そのためによく調べたり、取材したりして、地域の思いを知って、こちらの思いを知ってもらって、祭りを続けていければいいと思う。地域のほこりになるような祭りを続けたいと思う。</p>